

交換留学のすすめ

Student Guide to Study Abroad

交換留学のHPへ

2026

(2026年4月改定)

三重大学 国際戦略チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

kokusaikikaku@ab.mie-u.ac.jp 059-231-9711





目次

1. 交換留学とは.....	3
1) 交換留学とは何か	
2) 交換留学の意義と本学の現状紹介	
2. 交換留学を思い立ったら.....	5
1) 交換留学の流れ	
2) 交換留学に興味を持ったら	
3. 交換留学への応募.....	8
1) 応募から学内選考・派遣決定まで	
2) 留学先大学への申請手続きと出発準備	
4. 留学に必要な語学試験の案内.....	12
1) 英語検定試験	
2) その他の語学検定試験	
3) CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)	
5. 経済手段の確保と見通し.....	15
6. 交換留学Q&A	16

1. 交換留学とは

1) 交換留学とは何か

交換留学とは、三重大学が学生交流協定を結んでいる海外大学に、1年以内の期間で交換留学生として派遣される留学を指します。

3大メリット

協定大学の入学料と授業料は原則として免除されます

派遣期間中は三重大学に授業料を支払う必要がありますが、免除された場合は相手大学に支払う必要はありません。



三重大学の単位も取得できます

相手大学で取得した単位は本学の認定により三重大学の単位に互換される場合があります。



留年することなく卒業/修了することが可能です

派遣期間中も三重大学の在籍期間として認められるため、所定の単位を取得することができれば、留年せず卒業/修了することが可能です。



また交換留学生には、三重大学国際交流特別奨学金の申請資格が付与されます。

ただし交換留学生として選ばれるためには、学内選考を通過する必要があります。さらに派遣先大学によっては、専門的な授業を受けるための語学能力などについて、一定の要件を定めている場合がありますので、十分留意してください。



1. 交換留学とは

2) 交換留学の意義と本学の現状紹介

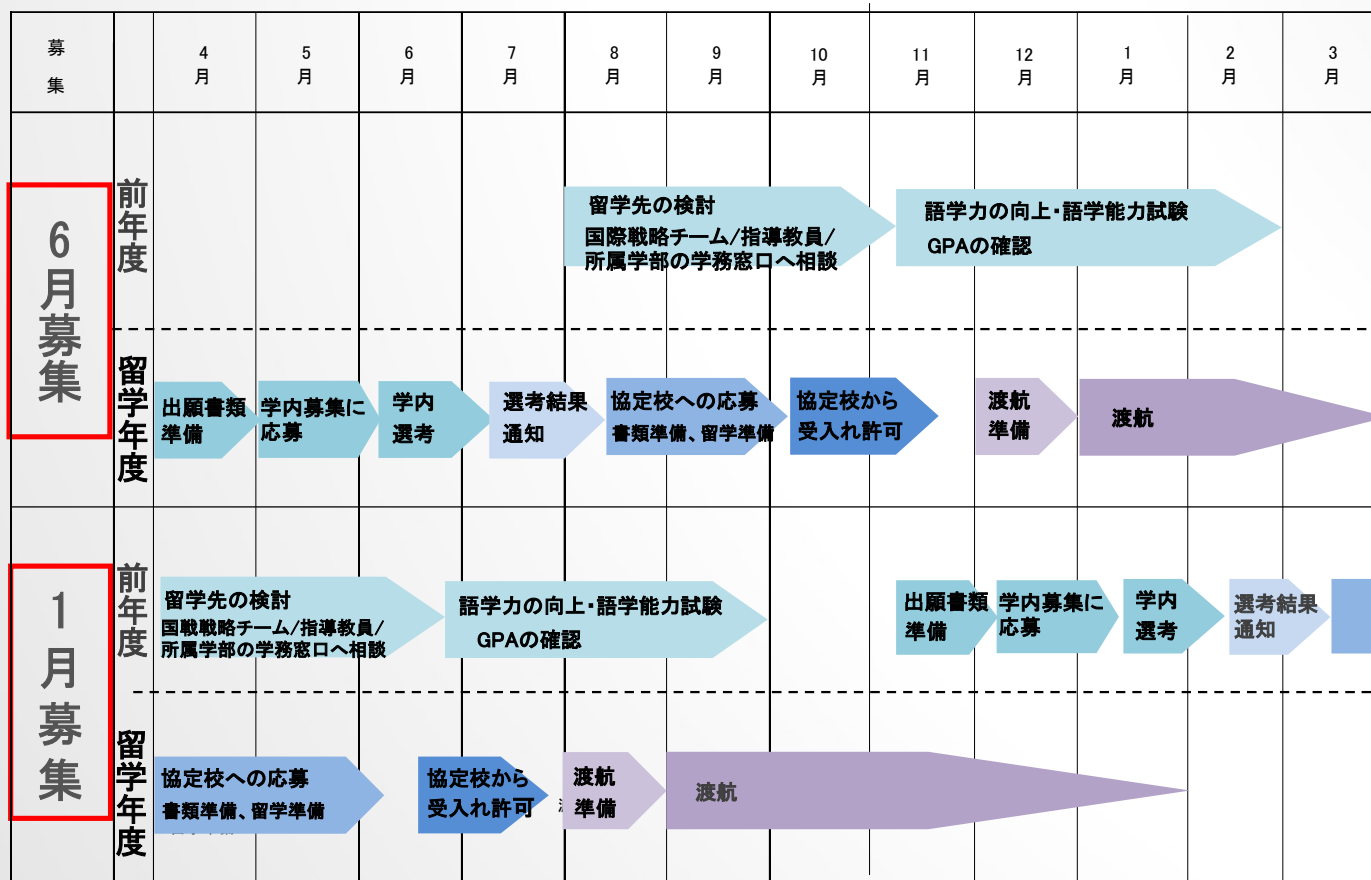
交換留学は、渡航先の大学での勉学に加え、大学寮での生活や多様な背景を持つ人々との日常的な交流を通じて、その国や地域の文化・価値観・社会の在り方に対する理解を深める貴重な機会です。異なる環境に身を置くことで、自分自身を客観的に見つめ直す契機にもなります。こうした経験は、国際社会の中で主体的に考え、協働し、行動する力を養う点で大きな意義を持つものです。

主な派遣先（国・地域名）
ハイデルベルク大学（ドイツ）
セントラル・ランカシャー大学（イギリス）
リール大学（フランス） <small>※人文学部との学部間協定に基づく</small>
タスマニア大学（オーストラリア）
ジャウメ1世大学（スペイン）
サボア・モンブラン大学（フランス）
ノースカロライナ大学ウィルミントン校（アメリカ）
ルール大学ポーフム（ドイツ）
東国大学校（韓国）
ホーチミン市師範大学（ベトナム）



2. 交換留学を思い立ったら

1) 交換留学の流れ



※上の表は一般的なスケジュールになります。協定校への出願時期・渡航時期は大学によって異なるため、どの時期の募集に応募すればいいかについては国際戦略チームにお問い合わせください。

※対面での相談を希望される場合は、事前にメールでご連絡いただくことをおすすめします。留学相談は対面の他、電話・メールでも受け付けます。
 電話：059-231-9711 E-MAIL: kokusaiikaku@ab.mie-u.ac.jp 住所：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学企画総務部国際戦略チーム国際企画担当





2. 交換留学を思い立ったら

2) 交換留学に興味を持ったら

交換留学を思い立っても、すぐに実現するほど簡単なものではありません。いくつかの条件と資格を満たしていることが要求されます。

交換留学に必ず必要な3条件

学歴及び学業成績

原則、三重大大学の正規生として留学開始時点で1年以上在籍していること。また交換留学先の大学で求められる学業成績を満たしていること。

要求される学歴及び成績等の条件は交換留学先の大学によって異なりますので、各大学のホームページまたは国際戦略チーム等で確認しましょう。

語学力

交換留学先の大学で要求されている語学力の条件を満たしていること。特に交換留学先の大学で専門分野を学ぶ場合には、高い語学力が求められます。詳細は「4. 留学に必要な語学試験の案内」を参照してください。また交換留学先の大学が求める語学力の要件については、国際戦略チームへお問い合わせください。

経済力

交換留学先の大学で学業に専念するための経済力を有していること。主な必要経費*として、往復旅費、海外旅行保険料、滞在費、食費、教材費、通信費、その他の雑費があります。奨学金の情報については、「5. 経済手段の確保と見直し」も併せてご覧ください。

*派遣先の国や地域によりますが、必要経費の目安は月額10万円程度です。
また事前に附属の語学学校に通う場合、一部の大学では授業料等が別途必要になります。



2. 交換留学を思い立ったら

2) 交換留学に興味を持ったら



～情報収集をしましょう～

- **一般的な留学情報**や希望する国・地域の情報を収集

【参考】

- ・日本学生支援機構 海外留学支援サイト

<http://ryugaku.jasso.go.jp/>

- ・外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

- **交換留学先大学**の情報を収集

【参考】

一部の協定校については、総合研究棟Ⅱ2階
国際戦略チーム事務室にパンフレットが置いてあります。

- **奨学金情報**等の収集

「5. 経済手段の確保と見直し」を参照。



～相談しましょう～

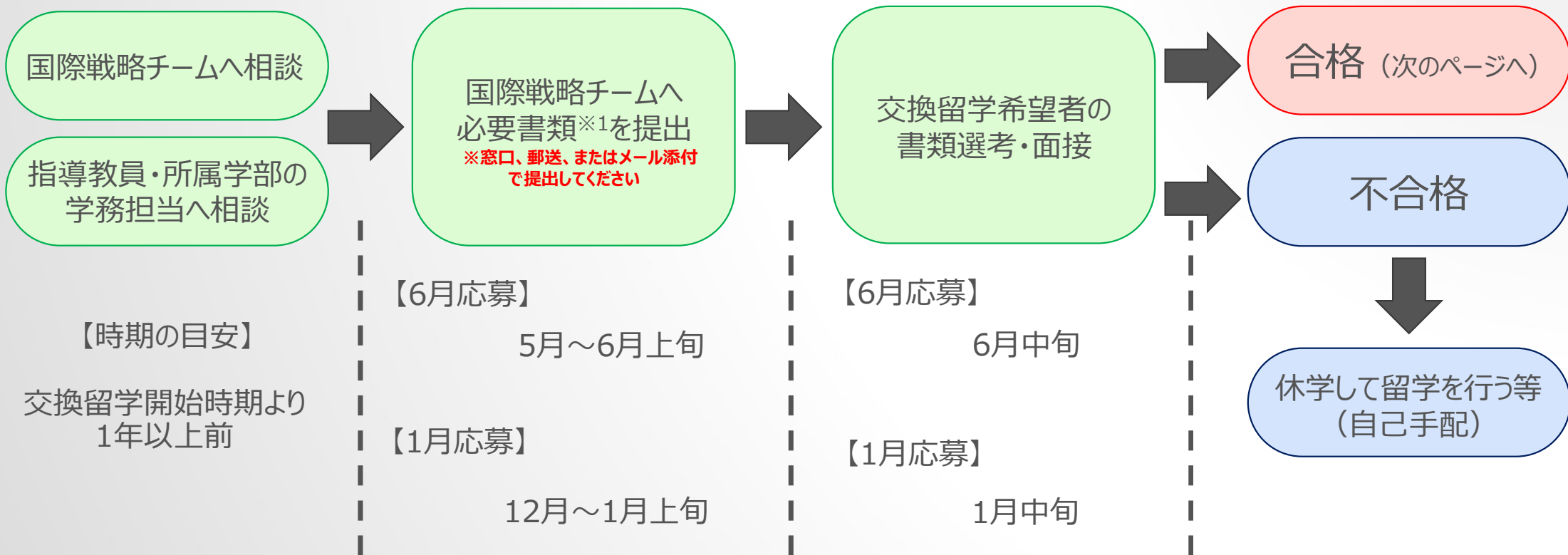
- **家族**に相談
留学資金、留学後や卒業・修了後の進路など
- **担当教員**に相談
留学先での授業、単位、卒業・修了の時期など
- **国際戦略チーム**に相談
【場所】 総合研究棟Ⅱ 2階
【窓口時間】 月～金（祝日を除く）
8:30～17:15
【TEL】 059-231-9711 又は 内線9711
【FAX】 059-231-5692
【Email】 kokusaikikaku@ab.mie-u.ac.jp

※留学相談は対面の他、メールまたは電話でも受け付けます。
※対面での相談を希望される場合は、事前にメールでご連絡いただくことをおすすめします。



3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選考・派遣決定まで

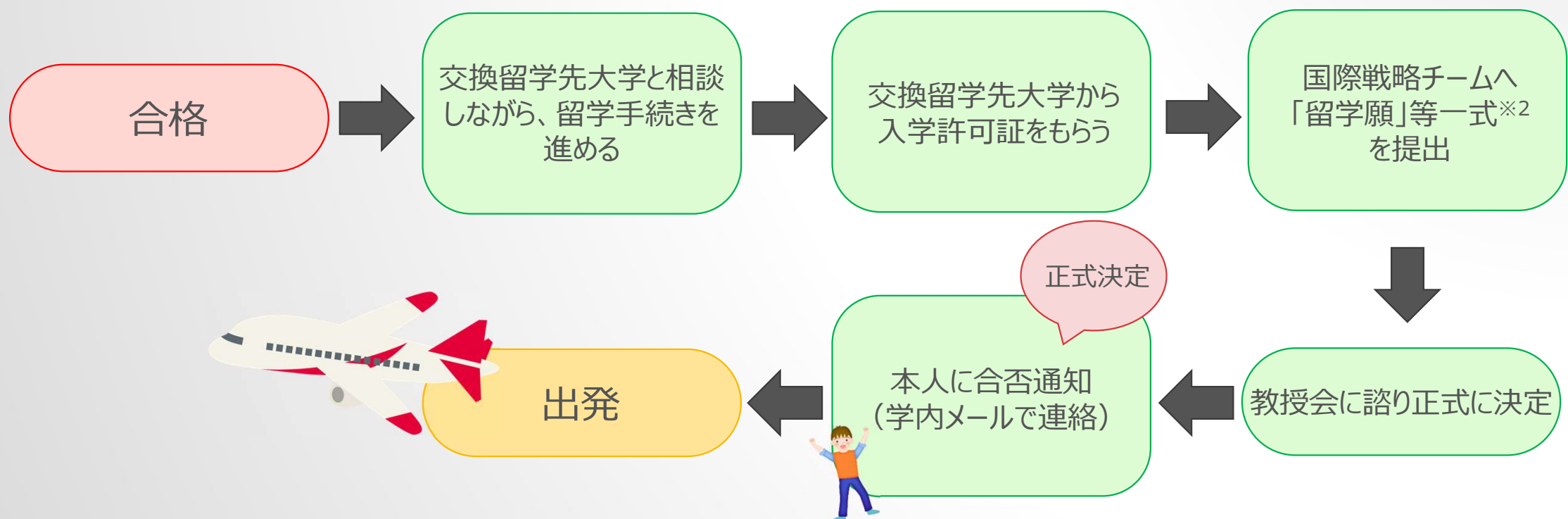


- ※1
- ① 交換留學生願書（写真貼付）
 - ② 成績通知書（写）又は成績証明書
 - ③ 語学能力を示す書類（写）：入学時に受けたTOEICスコアの再発行可能 (<https://group.iibc-global.org/test-taker/score-report>)
 - ④ 三重大学国際交流特別奨学金申請書（希望者のみ）：「5. 経済手段の確保と見直し」参照
 - ⑤ 同意書



3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選考・派遣決定まで



- ※2 ①留学願 (指定様式)
②協定校からの入学許可書 (写)
③パスポート (写)



3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選考・派遣決定まで

交換留学(派遣)年間スケジュール (2026年度)		
	6月選考	1月選考
募集開始日	2026年5月1日(金)	2026年12月1日(火)
書類締切日時	2026年6月1日(月) 9:00 (時間厳守)	2027年1月12日(火) 9:00 (時間厳守)
面接選考日時	2026年6月18日(木)	2027年1月21日(木)
合否発表日	2026年7月下旬	2027年2月下旬
協定校への ノミネーション締切	2026年8月以降	2027年3月以降
留学開始時期	2026年12月以降	2027年7月以降
主な対象校	別紙「主な交換留学先一覧」をご参照ください	

*①、④、⑤は国際戦略機構ホームページからダウンロードしてください。
<http://www.mie-u.ac.jp/international/studyabroad/overseasstudy/exchange-program.html>

～募集要項～



【応募資格】

- ①三重大大学の正規生（学部・大学院）として留学開始時点で1年以上在籍していること
- ②留学期間が1学期以上で概ね1年間以内であること
- ③協定校が要求する語学能力を満たすもの

【応募締切】

左表のとおり

【出願書類】*

- ①交換留學生願書（写真貼付）
- ②成績通知書（写）又は成績証明書
- ③語学能力を示す書類（写）
（TOEIC、TOEFL、IELTS等のスコア表）
- ④三重大大学国際交流特別奨学金申請書
（希望者のみ）
- ⑤同意書

出願書類は窓口・郵送・メール添付で提出を受け付けます



3. 交換留学への応募

2) 留学先大学への申請手続きと出発準備

① 協定校への申請手続き

原則、国際戦略チームを通して協定校へ申請書類を提出し、受入れ可否の照会を行います。

② 出発準備

- パスポート取得（発行には時間を要するため、余裕を持って準備すること）
- ビザ申請（発行には時間を要するため、余裕を持って準備すること）
- 海外旅行保険の加入（国際戦略チームよりご案内します）
- 航空券の予約
- 住まいの準備（協定校によっては、学生寮への入居が可能です）
- 留学願等一式を国際戦略チームへ提出
- 海外渡航届を提出（Microsoft Formsによる電子申請）
- 予防接種（渡航先によっては必要になることがあります）
- 外務省が提供するオンライン在留届を提出（<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>）



海外旅行保険には必ず加入を！



留学先で事故・事件に巻き込まれないとは限りません。
海外で入院・手術等が必要となった場合には、医療費が非常に高額になることもあります。
このため、留学前には必ず**大学の指定する**海外旅行保険に加入してください。
海外旅行保険特約が付いているクレジットカードや、派遣先大学が加入を義務付けている保険もありますが、補償内容が充分でない場合が多いので、留学前に充実した保険に加入しましょう。



4. 留学に必要な語学試験の案内

1) 英語検定試験

英語圏の多くの大学で入学資格として認められている語学能力の指標がTOEFLとIELTSです。交換留学を希望する場合も、これらの語学試験のスコアが求められることが多いです。

	TOEFL / トーフル (TOEFL iBT)	IELTS / アイエルツ (アカデミック・モジュール)
正式名称	Test of English as a Foreign Language	International English Language Testing System
目的	海外留学・大学院進学	海外留学・大学院進学
試験時間	約1時間30分	約2時間45分
受験方式	完全PC型（会場 / 自宅）	PC型（会場のみ）
試験日程	通年・高頻度	通年・ほぼ毎日
試験会場	日本全国のテストセンター（東海では津・名古屋・静岡・浜松）＋自宅受験可	東京、大阪、名古屋
受験料	US\$195（受験日の7日前までの申込）	27,500円
スコア体系	1－6（0.5ポイント刻み）	0.0－9.0（0.5ポイント刻み）
スピーキング	PCに向かって発話・録音	面接官との対面式

※ 最新の情報は各自公式ホームページ等でご確認ください。



4. 留学に必要な語学試験の案内

2) その他の語学検定試験

中国語検定



中国への留学希望者は、HSK4級以上または日本中国語検定4級を取得することをおすすめします。一部の大学では、語学基準が設けられています。また台湾への留学の場合は、TOCFL Level3（進階級B1）取得をおすすめします。いずれも留学中に現地で受験することもできます。

- ・HSK : <https://www.hskj.jp/>
- ・日本中国語検定 : <https://www.chuken.gr.jp/>
- ・華語文能力測驗 : <http://www.sc-top.org.tw>

ドイツ語技能検定試験



夏（6月）と冬（12月）の年2回行われ、夏は2級から5級、冬は1級から5級までの級が実施されます。

※参考 : <https://www.dokken.or.jp/index.html>

実用フランス語技能検定試験



1級から5級までの7級が設けられています。春季（6月）と秋季（11月）の年2回行われます。

※参考 : <https://apefdapf.org/>



4. 留学に必要な語学試験の案内

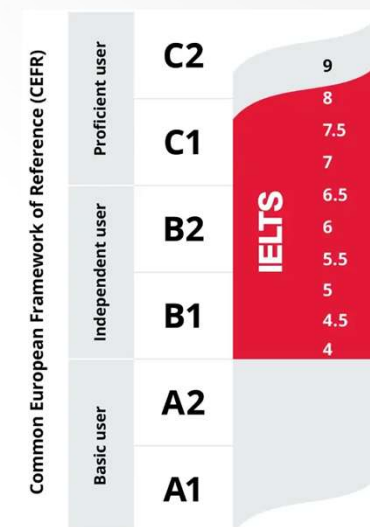
3) CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)

CEFR (セファール : Common European Framework of Reference for Languages) は、言語の枠や国境を越えて、外国語の運用能力を同一の基準で測ることができる国際標準です。

熟練した 言語使用者	C2	ほぼすべての聞いた・読んだ内容を用意に理解できる 情報を整理・統合し、論理的に再構築できる 自然で正確、非常に流暢に自己表現できる
	C1	高度で長い文章を理解し、含意も把握できる 言葉に詰まらず、自然で流暢に表現できる 学術・職業・社会生活で効果的に言語を使える
自立した 言語使用者	B2	抽象的・専門的な内容を含む文章の要点を理解できる 母語話者と無理なく自然にやり取りできる 幅広い話題について明確で詳細な文章を書ける
	B1	身近な話題について、標準的な言葉であれば理解できる 旅行先などで起こりうる状況に対処できる 身近な話題について筋の通った簡単な文章を書ける
基礎段階の 言語使用者	A2	日常生活に直接関係する表現や文を理解できる 簡単で日常的な情報交換ができる 身近な事柄についてごく簡単に話せる
	A1	基本的な日常表現を理解・使用できる 自分や他人について簡単な紹介ができる ゆっくり話してもらえば、簡単なやり取りができる

CEFR level	Total
C2	6
C1	5.5
C1	5
B2	4.5
B2	4
B1	3.5
B1	3
A2	2.5
A2	2
A1	1.5
A1	1

TOEFL iBTとCEFRの対応表



IELTSとCEFRの対応表



5. 経済手段の確保と見通し

～三重大学国際交流特別奨学生制度～

【対象学生】 海外協定大学の学期制により1学期以上留学する学生

【奨学金額】 15万円
※2026年度の学内選考に合格した学生には、「派遣支援強化奨学金」として1人あたり10万円を追加で支給します

【奨学生数】 年間20名以内

【申請方法】 学内選考時に奨学金申請書を提出

別紙 1

三重大学国際交流特別奨学生制度・語学検定試験基準点（言語別）

言語	語学検定試験名	スコア	評価
英語	TOEIC (IPテストでも可)	470	日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる。通常会話であれば、要点を理解し、応答にも支障はない。
	TOEFL iBT		日常会話レベルの設定なし。
	IELTS	4	限定的ユーザー。慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。
中国語	日本中国語検定	4級	中国語の基礎をマスター。平易な中国語を聞き、話すことができること。
韓国語	韓国語能力試験	2級 (初級試験)	電話やお願い程度の日常生活に必要な言語や、郵便局、銀行などの公共機関での会話ができる。
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	4級	基礎的なドイツ語を理解し、初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。
フランス語	実用フランス語技能検定試験	4級	日常のフランス語。基礎的な日常的フランス語を理解し、読み、聞き、書くことができる。
スペイン語	スペイン語技能検定試験	4級 (中級)	簡単な日常会話ができ、文法を一通り終了。

※スコアの有効期限については問わない。

※その他奨学金情報

・ 日本学生支援機構 海外留学支援サイト

<http://ryugaku.jasso.go.jp/>





6. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q1. 交換留学先は、どのように決めたらよいのでしょうか？

A1. 交換留学先は、自分で自由に決めることができます。基本的には、三重大が学生交流協定を締結している大学の中から、自分の希望する大学を選んで留学することが可能ですが、中には授業料相互不徴収となっていない場合がありますので、注意が必要です。

また、留学先で使用したい言語は何か、何を学びたいのか（語学・文化 / 専門分野）、先方が求めている語学要件をクリアできているのかなど、様々な面での検討が必要です。

Q2. 交換留学と休学して留学する形態の違いは何ですか？

A2. 交換留学とは、所属する学部・研究科に留学願を提出し、教授会等において認められるもので、三重大に学籍を置いた状態で、1年を上限として外国の大学で勉学に励む履修形態のことを指します。三重大に学籍がある以上、その留学期間中も学年は進行していきますので、卒業のために必要な取得単位数などを考慮して留学計画を組めば、正規の標準年限で卒業・修了することが可能です。

一方で、休学は指導教員の承認を得た上で、所属する学部・研究科に休学願を提出し、教授会等において認められるもので、休学中は三重大に授業料を納める必要はありません。ただし、この場合は留学先の大学で授業料等を納めなければなりません。また休学中は学年が進行しないため、留学期間が卒業・修了に必要な正規の標準年限内に算入されることはありません。



6. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q3. 交換留学したいのですが、4年間で卒業できますか？

回答 (A)

A4. 三重大学では、他大学等で修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学の単位として認めています。これは、交換留学の場合にも準用されます。この単位互換制度を最大限利用すれば、4年間で卒業することは可能です。

しかし実際には、以下の2つの理由によりどうしても半年～1年は卒業・修了が遅れてしまうこともあります。

1つ目は、交換留学先大学と三重大学との学期の違いです。海外の大学と日本の大学では新学期の開始時期が異なり、学期の区切りが一致しない場合があります。そのため、交換留学を終えて帰国しても、日本の大学の学期開始時期と合わず、すぐに次の学期の授業履修に移れないことがあります。結果として、必修科目を本来履修すべき時期に履修できなかつたり、実験・実習や卒業研究・論文作成に十分な時間を確保できなかつたりすることがあり、最終的に卒業・修了が遅れる場合があります。

2つ目は、本学で学ぶべき専門科目の内容と、交換留学先大学で学ぶことができる科目の内容が必ずしも一致しないために、仮に交換留学先大学で単位を修得してきたとしても、それが本学におけるカリキュラム上の授業科目の単位として認められない場合があるということです。帰国してからの授業の履修に関することは、渡航前に指導教員や学部・研究科の学務担当とよく相談しておくことが重要です。

また、就職活動など個人的な将来設計に関わる都合で卒業が遅れる場合もあります。



6. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q4. 単位互換について教えてください。

回答 (A)

A4. 単位互換制度を利用する場合は、まず交換留学中に履修した科目名・授業時間数・成績を、交換留学先の大学から正式な成績証明書として交付してもらいます。成績証明書とともに、科目内容に関して記載されたシラバスや、提出したレポートなどの資料も必要になります。それらに基づいて、三重大大学の所属学部・研究科の教授会等が、三重大大学で適用されているカリキュラムのどの授業科目の単位数分の学修効果に相当するかを判断し、互換を認めるという形が一般的です。ただし、学部によって事情が異なりますので、個別に指導教員及び各学部・研究科の学務担当に確認をとってください。

なお、交換留学する前に交換留学先大学のシラバスを入手し、どの科目を履修するのか、その科目が三重大大学のどの科目に相当するのかを、指導教員や学部・研究科の学務担当と事前に相談しておいたほうが、後の手続きがスムーズに進むでしょう。

交換留学のすすめ

Student Guide to Study Abroad

交換留学のHPへ

2026

(2026年4月改定)

三重大学 国際戦略チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

kokusaikikaku@ab.mie-u.ac.jp 059-231-9711





目次

1. 交換留学とは.....	3
1) 交換留学とは何か	
2) 交換留学の意義と本学の現状紹介	
2. 交換留学を思い立ったら.....	5
1) 交換留学の流れ	
2) 交換留学に興味を持ったら	
3. 交換留学への応募.....	8
1) 応募から学内選考・派遣決定まで	
2) 留学先大学への申請手続きと出発準備	
4. 留学に必要な語学試験の案内.....	12
1) 英語検定試験	
2) その他の語学検定試験	
3) CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)	
5. 経済手段の確保と見通し.....	15
6. 交換留学Q&A	16

1. 交換留学とは

1) 交換留学とは何か

交換留学とは、三重大学が学生交流協定を結んでいる海外大学に、1年以内の期間で交換留学生として派遣される留学を指します。

3大メリット

協定大学の入学料と授業料は原則として免除されます

派遣期間中は三重大学に授業料を支払う必要がありますが、免除された場合は相手大学に支払う必要はありません。



三重大学の単位も取得できます

相手大学で取得した単位は本学の認定により三重大学の単位に互換される場合があります。



留年することなく卒業/修了することが可能です

派遣期間中も三重大学の在籍期間として認められるため、所定の単位を取得することができれば、留年せず卒業/修了することが可能です。



また交換留学生には、三重大学国際交流特別奨学金の申請資格が付与されます。

ただし交換留学生として選ばれるためには、学内選考を通過する必要があります。さらに派遣先大学によっては、専門的な授業を受けるための語学能力などについて、一定の要件を定めている場合がありますので、十分留意してください。



1. 交換留学とは

2) 交換留学の意義と本学の現状紹介

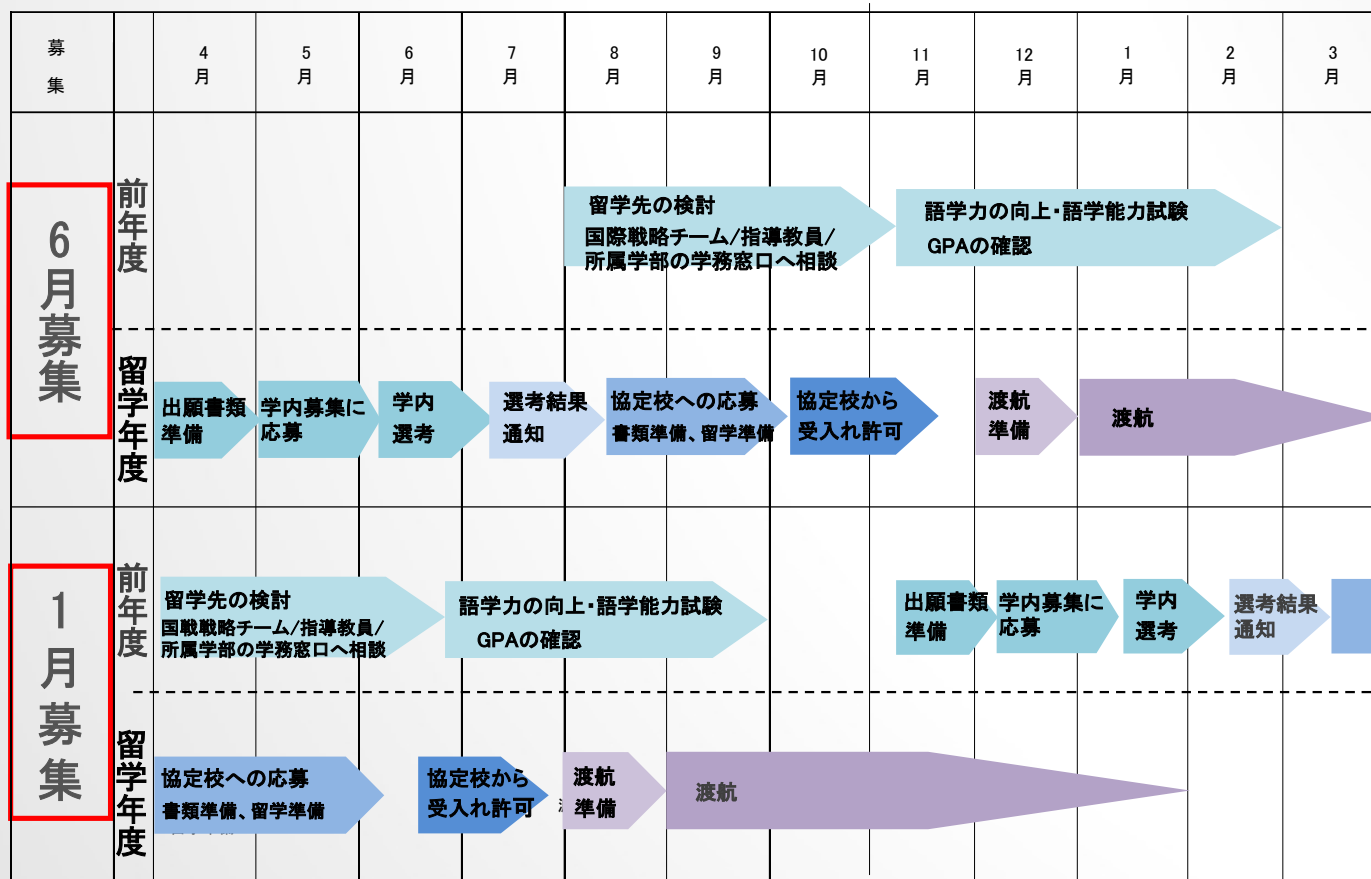
交換留学は、渡航先の大学での勉学に加え、大学寮での生活や多様な背景を持つ人々との日常的な交流を通じて、その国や地域の文化・価値観・社会の在り方に対する理解を深める貴重な機会です。異なる環境に身を置くことで、自分自身を客観的に見つめ直す契機にもなります。こうした経験は、国際社会の中で主体的に考え、協働し、行動する力を養う点で大きな意義を持つものです。

主な派遣先（国・地域名）
ハイデルベルク大学（ドイツ）
セントラル・ランカシャー大学（イギリス）
リール大学（フランス） <small>※人文学部との学部間協定に基づく</small>
タスマニア大学（オーストラリア）
ジャウメ1世大学（スペイン）
サボア・モンブラン大学（フランス）
ノースカロライナ大学ウィルミントン校（アメリカ）
ルール大学ポーフム（ドイツ）
東国大学校（韓国）
ホーチミン市師範大学（ベトナム）



2. 交換留学を思い立ったら

1) 交換留学の流れ



※上の表は一般的なスケジュールになります。協定校への出願時期・渡航時期は大学によって異なるため、どの時期の募集に応募すればいいかについては国際戦略チームにお問い合わせください。

※対面での相談を希望される場合は、事前にメールでご連絡いただくことをおすすめします。留学相談は対面の他、電話・メールでも受け付けます。
電話：059-231-9711 E-MAIL: kokusaiikaku@ab.mie-u.ac.jp 住所：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学企画総務部国際戦略チーム国際企画担当



2. 交換留学を思い立ったら

2) 交換留学に興味を持ったら

交換留学を思い立っても、すぐに実現するほど簡単なものではありません。いくつかの条件と資格を満たしていることが要求されます。

交換留学に必ず必要な3条件

学歴及び学業成績

原則、三重大大学の正規生として留学開始時点で1年以上在籍していること。また交換留学先の大学で求められる学業成績を満たしていること。

要求される学歴及び成績等の条件は交換留学先の大学によって異なりますので、各大学のホームページまたは国際戦略チーム等で確認しましょう。

語学力

交換留学先の大学で要求されている語学力の条件を満たしていること。特に交換留学先の大学で専門分野を学ぶ場合には、高い語学力が求められます。詳細は「4. 留学に必要な語学試験の案内」を参照してください。また交換留学先の大学が求める語学力の要件については、国際戦略チームへお問い合わせください。

経済力

交換留学先の大学で学業に専念するための経済力を有していること。主な必要経費*として、往復旅費、海外旅行保険料、滞在費、食費、教材費、通信費、その他の雑費があります。奨学金の情報については、「5. 経済手段の確保と見直し」も併せてご覧ください。

*派遣先の国や地域によりますが、必要経費の目安は月額10万円程度です。
また事前に附属の語学学校に通う場合、一部の大学では授業料等が別途必要になります。



2. 交換留学を思い立ったら

2) 交換留学に興味を持ったら



～情報収集をしましょう～

- **一般的な留学情報**や希望する国・地域の情報を収集

【参考】

- 日本学生支援機構 海外留学支援サイト

<http://ryugaku.jasso.go.jp/>

- 外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

- **交換留学先大学**の情報を収集

【参考】

一部の協定校については、総合研究棟Ⅱ2階
国際戦略チーム事務室にパンフレットが
おいてあります。

- **奨学金情報**等の収集

「5. 経済手段の確保と見直し」を参照。



～相談をしましょう～

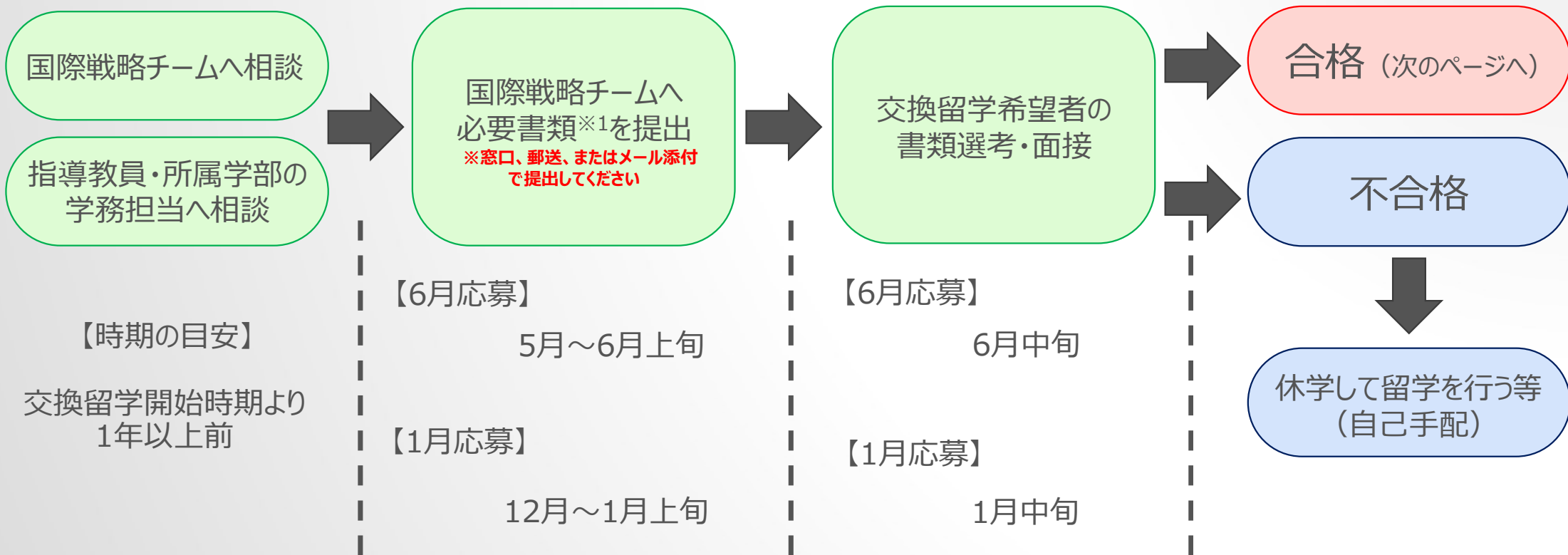
- **家族**に相談
留学資金、留学後や卒業・修了後の進路など
- **担当教員**に相談
留学先での授業、単位、卒業・修了の時期など
- **国際戦略チーム**に相談
【場所】 総合研究棟Ⅱ 2階
【窓口時間】 月～金（祝日を除く）
8:30～17:15
【TEL】 059-231-9711 又は 内線9711
【FAX】 059-231-5692
【Email】 kokusaikikaku@ab.mie-u.ac.jp

※留学相談は対面の他、メールまたは電話でも受け付けます。
※対面での相談を希望される場合は、事前にメールでご連絡いただく
ことをおすすめします。



3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選考・派遣決定まで

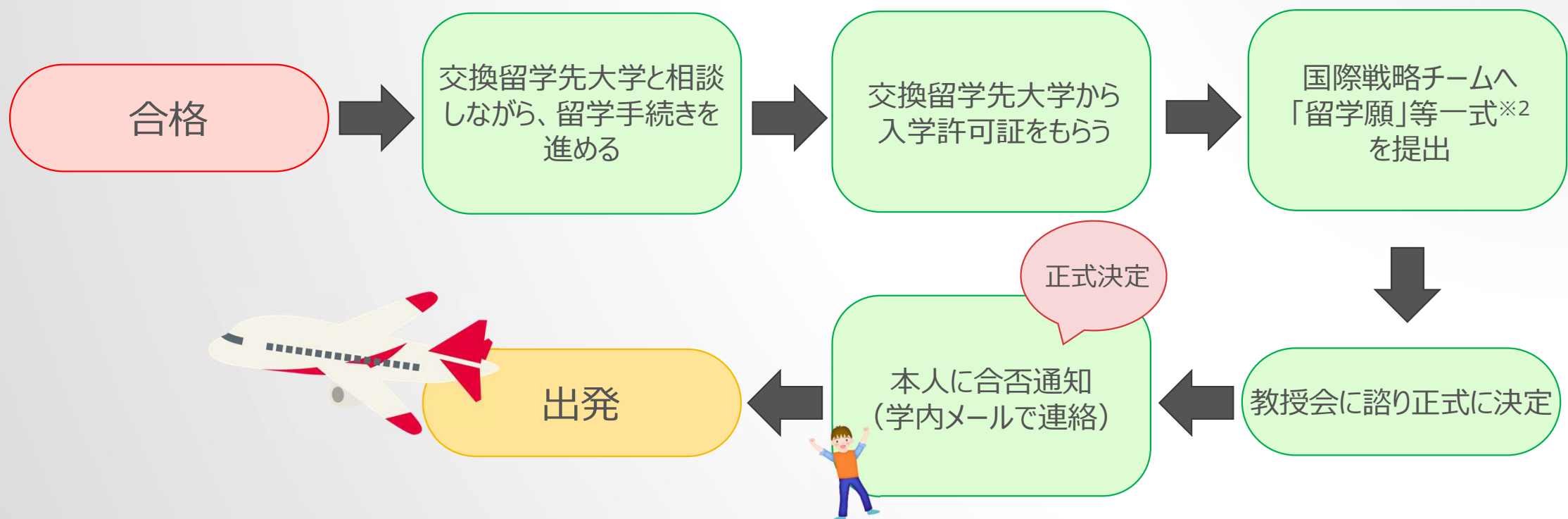


- ※1
- ① 交換留學生願書 (写真貼付)
 - ② 成績通知書 (写) 又は成績証明書
 - ③ 語学能力を示す書類 (写) : 入学時に受けたTOEICスコアの再発行可能 (<https://group.iibc-global.org/test-taker/score-report>)
 - ④ 三重大学国際交流特別奨学金申請書 (希望者のみ) : 「5. 経済手段の確保と見直し」参照
 - ⑤ 同意書



3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選考・派遣決定まで



- ※2 ①留学願 (指定様式)
②協定校からの入学許可書 (写)
③パスポート (写)



3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選考・派遣決定まで

交換留学(派遣)年間スケジュール (2026年度)		
	6月選考	1月選考
募集開始日	2026年5月1日(金)	2026年12月1日(火)
書類締切日時	2026年6月1日(月) 9:00 (時間厳守)	2027年1月12日(火) 9:00 (時間厳守)
面接選考日時	2026年6月18日(木)	2027年1月21日(木)
合否発表日	2026年7月下旬	2027年2月下旬
協定校への ノミネーション締切	2026年8月以降	2027年3月以降
留学開始時期	2026年12月以降	2027年7月以降
主な対象校	別紙「主な交換留学先一覧」をご参照ください	

*①、④、⑤は国際戦略機構ホームページからダウンロードしてください。
<http://www.mie-u.ac.jp/international/studyabroad/overseasstudy/exchange-program.html>

～募集要項～



【応募資格】

- ①三重大大学の正規生（学部・大学院）として留学開始時点で1年以上在籍していること
- ②留学期間が1学期以上で概ね1年間以内であること
- ③協定校が要求する語学能力を満たすもの

【応募締切】

左表のとおり

【出願書類】*

- ①交換留學生願書（写真貼付）
- ②成績通知書（写）又は成績証明書
- ③語学能力を示す書類（写）
（TOEIC、TOEFL、IELTS等のスコア表）
- ④三重大大学国際交流特別奨学金申請書
（希望者のみ）
- ⑤同意書

出願書類は窓口・郵送・メール添付で提出を受け付けます



3. 交換留学への応募

2) 留学先大学への申請手続きと出発準備

① 協定校への申請手続き

原則、国際戦略チームを通して協定校へ申請書類を提出し、受入れ可否の照会を行います。

② 出発準備

- パスポート取得（発行には時間を要するため、余裕を持って準備すること）
- ビザ申請（発行には時間を要するため、余裕を持って準備すること）
- 海外旅行保険の加入（国際戦略チームよりご案内します）
- 航空券の予約
- 住まいの準備（協定校によっては、学生寮への入居が可能です）
- 留学願等一式を国際戦略チームへ提出
- 海外渡航届を提出（Microsoft Formsによる電子申請）
- 予防接種（渡航先によっては必要になることがあります）
- **外務省が提供するオンライン在留届を提出** (<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>)



海外旅行保険には必ず加入を！



留学先で事故・事件に巻き込まれないとは限りません。
海外で入院・手術等が必要となった場合には、医療費が非常に高額になることもあります。
このため、留学前には必ず**大学の指定する**海外旅行保険に加入してください。
海外旅行保険特約が付いているクレジットカードや、派遣先大学が加入を義務付けている保険もありますが、
補償内容が充分でない場合が多いので、留学前に充実した保険に加入しましょう。



4. 留学に必要な語学試験の案内

1) 英語検定試験

英語圏の多くの大学で入学資格として認められている語学能力の指標がTOEFLとIELTSです。交換留学を希望する場合も、これらの語学試験のスコアが求められることが多いです。

	TOEFL / トーフル (TOEFL iBT)	IELTS / アイエルツ (アカデミック・モジュール)
正式名称	Test of English as a Foreign Language	International English Language Testing System
目的	海外留学・大学院進学	海外留学・大学院進学
試験時間	約1時間30分	約2時間45分
受験方式	完全PC型（会場 / 自宅）	PC型（会場のみ）
試験日程	通年・高頻度	通年・ほぼ毎日
試験会場	日本全国のテストセンター（東海では津・名古屋・静岡・浜松）＋自宅受験可	東京、大阪、名古屋
受験料	US\$195（受験日の7日前までの申込）	27,500円
スコア体系	1－6（0.5ポイント刻み）	0.0－9.0（0.5ポイント刻み）
スピーキング	PCに向かって発話・録音	面接官との対面式

※ 最新の情報は各自公式ホームページ等でご確認ください。



4. 留学に必要な語学試験の案内

2) その他の語学検定試験

中国語検定



中国への留学希望者は、HSK4級以上または日本中国語検定4級を取得することをおすすめします。一部の大学では、語学基準が設けられています。また台湾への留学の場合は、TOCFL Level3（進階級B1）取得をおすすめします。いずれも留学中に現地で受験することもできます。

- ・HSK : <https://www.hskj.jp/>
- ・日本中国語検定 : <https://www.chuken.gr.jp/>
- ・華語文能力測驗 : <http://www.sc-top.org.tw>

ドイツ語技能検定試験



夏（6月）と冬（12月）の年2回行われ、夏は2級から5級、冬は1級から5級までの級が実施されます。

※参考 : <https://www.dokken.or.jp/index.html>

実用フランス語技能検定試験



1級から5級までの7級が設けられています。春季（6月）と秋季（11月）の年2回行われます。

※参考 : <https://apefdapf.org/>



4. 留学に必要な語学試験の案内

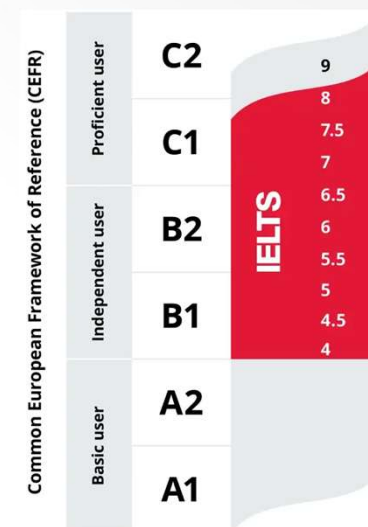
3) CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)

CEFR (セファール : Common European Framework of Reference for Languages) は、言語の枠や国境を越えて、外国語の運用能力を同一の基準で測ることができる国際標準です。

熟練した 言語使用者	C2	ほぼすべての聞いた・読んだ内容を用意に理解できる 情報を整理・統合し、論理的に再構築できる 自然で正確、非常に流暢に自己表現できる
	C1	高度で長い文章を理解し、含意も把握できる 言葉に詰まらず、自然で流暢に表現できる 学術・職業・社会生活で効果的に言語を使える
自立した 言語使用者	B2	抽象的・専門的な内容を含む文章の要点を理解できる 母語話者と無理なく自然にやり取りできる 幅広い話題について明確で詳細な文章を書ける
	B1	身近な話題について、標準的な言葉であれば理解できる 旅行先などで起こりうる状況に対処できる 身近な話題について筋の通った簡単な文章を書ける
基礎段階の 言語使用者	A2	日常生活に直接関係する表現や文を理解できる 簡単で日常的な情報交換ができる 身近な事柄についてごく簡単に話せる
	A1	基本的な日常表現を理解・使用できる 自分や他人について簡単な紹介ができる ゆっくり話してもらえば、簡単なやり取りができる

CEFR level	Total
C2	6
C1	5.5
C1	5
B2	4.5
B2	4
B1	3.5
B1	3
A2	2.5
A2	2
A1	1.5
A1	1

TOEFL iBTとCEFRの対応表



IELTSとCEFRの対応表



5. 経済手段の確保と見通し

～三重大学国際交流特別奨学生制度～

【対象学生】 海外協定大学の学期制により1学期以上留学する学生

【奨学金額】 15万円
※2026年度の学内選考に合格した学生には、「派遣支援強化奨学金」として1人あたり10万円を追加で支給します

【奨学生数】 年間20名以内

【申請方法】 学内選考時に奨学金申請書を提出

別紙 1

三重大学国際交流特別奨学生制度・語学検定試験基準点（言語別）

言語	語学検定試験名	スコア	評価
英語	TOEIC (IPテストでも可)	470	日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる。通常会話であれば、要点を理解し、応答にも支障はない。
	TOEFL iBT		日常会話レベルの設定なし。
	IELTS	4	限定的ユーザー。慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。
中国語	日本中国語検定	4級	中国語の基礎をマスター。平易な中国語を聞き、話すことができること。
韓国語	韓国語能力試験	2級 (初級試験)	電話やお願い程度の日常生活に必要な言語や、郵便局、銀行などの公共機関での会話ができる。
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	4級	基礎的なドイツ語を理解し、初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。
フランス語	実用フランス語技能検定試験	4級	日常のフランス語。基礎的な日常的フランス語を理解し、読み、聞き、書くことができる。
スペイン語	スペイン語技能検定試験	4級 (中級)	簡単な日常会話ができ、文法を一通り終了。

※スコアの有効期限については問わない。

※その他奨学金情報

・日本学生支援機構 海外留学支援サイト

<http://ryugaku.jasso.go.jp/>





6. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q1. 交換留学先は、どのように決めたらよいのでしょうか？

A1. 交換留学先は、自分で自由に決めることができます。基本的には、三重大が学生交流協定を締結している大学の中から、自分の希望する大学を選んで留学することが可能ですが、中には授業料相互不徴収となっていない場合がありますので、注意が必要です。

また、留学先で使用したい言語は何か、何を学びたいのか（語学・文化 / 専門分野）、先方が求めている語学要件をクリアできているのかなど、様々な面での検討が必要です。

Q2. 交換留学と休学して留学する形態の違いは何ですか？

A2. 交換留学とは、所属する学部・研究科に留学願を提出し、教授会等において認められるもので、三重大に学籍を置いた状態で、1年を上限として外国の大学で勉学に励む履修形態のことを指します。三重大に学籍がある以上、その留学期間中も学年は進行していきますので、卒業のために必要な取得単位数などを考慮して留学計画を組めば、正規の標準年限で卒業・修了することが可能です。

一方で、休学は指導教員の承認を得た上で、所属する学部・研究科に休学願を提出し、教授会等において認められるもので、休学中は三重大に授業料を納める必要はありません。ただし、この場合は留学先の大学で授業料等を納めなければなりません。また休学中は学年が進行しないため、留学期間が卒業・修了に必要な正規の標準年限内に算入されることはありません。



6. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q3. 交換留学したいのですが、4年間で卒業できますか？

回答 (A)

A4. 三重大学では、他大学等で修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学の単位として認めています。これは、交換留学の場合にも準用されます。この単位互換制度を最大限利用すれば、4年間で卒業することは可能です。

しかし実際には、以下の2つの理由によりどうしても半年～1年は卒業・修了が遅れてしまうこともあります。

1つ目は、交換留学先大学と三重大学との学期の違いです。海外の大学と日本の大学では新学期の開始時期が異なり、学期の区切りが一致しない場合があります。そのため、交換留学を終えて帰国しても、日本の大学の学期開始時期と合わず、すぐに次の学期の授業履修に移れないことがあります。結果として、必修科目を本来履修すべき時期に履修できなかつたり、実験・実習や卒業研究・論文作成に十分な時間を確保できなかつたりすることがあり、最終的に卒業・修了が遅れる場合があります。

2つ目は、本学で学ぶべき専門科目の内容と、交換留学先大学で学ぶことができる科目の内容が必ずしも一致しないために、仮に交換留学先大学で単位を修得してきたとしても、それが本学におけるカリキュラム上の授業科目の単位として認められない場合があるということです。帰国してからの授業の履修に関することは、渡航前に指導教員や学部・研究科の学務担当とよく相談しておくことが重要です。

また、就職活動など個人的な将来設計に関わる都合で卒業が遅れる場合もあります。



6. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q4. 単位互換について教えてください。

回答 (A)

A4. 単位互換制度を利用する場合は、まず交換留学中に履修した科目名・授業時間数・成績を、交換留学先の大学から正式な成績証明書として交付してもらいます。成績証明書とともに、科目内容に関して記載されたシラバスや、提出したレポートなどの資料も必要になります。それらに基づいて、三重大大学の所属学部・研究科の教授会等が、三重大大学で適用されているカリキュラムのどの授業科目の単位数分の学修効果に相当するかを判断し、互換を認めるという形が一般的です。ただし、学部によって事情が異なりますので、個別に指導教員及び各学部・研究科の学務担当に確認をとってください。

なお、交換留学する前に交換留学先大学のシラバスを入手し、どの科目を履修するのか、その科目が三重大大学のどの科目に相当するのかを、指導教員や学部・研究科の学務担当と事前に相談しておいたほうが、後の手続きがスムーズに進むでしょう。